

環 境 会 計

環境保全に関係した投資・費用を定量的に把握し評価するために、環境省の「環境会計ガイドライン 2007 年版」を参考に 2010 度の環境会計データを集計しました。

H22 年度は、環境対応エンジンの試験研究費が増加しました。

(単位：百万円)

分 類		取り組み内容	投資額	費用額
事業エリア内コスト	公害防止コスト	煙道、水処理設備、油水分離槽などの整備・改修、騒音対策など	11.4	15.3
	地球環境保全コスト	高効率照明の導入、電力監視システム設置など	9.4	13.6
	資源循環コスト	廃棄物定期処理など	－	43.4
上・下流コスト	グリーン購入に伴い発生した通常の購入との差額コスト	事務用品のグリーン購入	－	0.5
管理活動コスト	環境情報取得、環境負荷監視及び事業所内美化	EMS 認証取得、サーベランス、騒音、水質等環境測定など	－	15.1
研究開発コスト	環境保全製品の研究開発及び製造段階における環境負荷抑制	船用ディーゼルエンジン排ガス規制対応研究など	－	2,193.3
合 計			20.8	2,281.2

環境保全対策による経済効果		売却量(t)	売却額(百万円)
有価物等の売却額①	鉄くず・切粉	1,793.3	36.0
有価物等の売却額②	木材、ダンボール、油性廃油	92.1	0.4